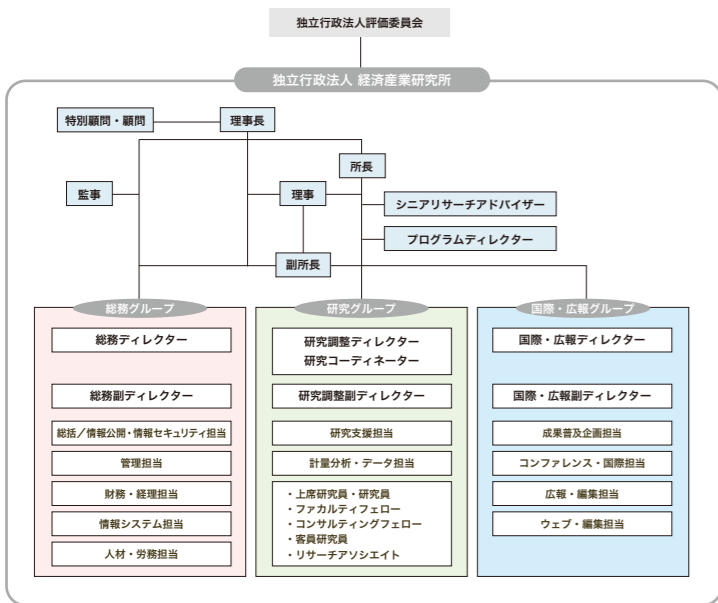


## 研究所概要 (2011年3月末現在)

設立年月日：2001年4月1日

研究員数：53名

主たる財源：運営費交付金（経済産業省より）



## シニアリサーチアドバイザー

尾高 煌之助 (一橋大学・法政大学)	根津 利三郎 (株富士通総研)
吉川 洋 (東京大学)	若杉 隆平 (京都大学)

## プログラムディレクター

研究プログラム	担当ディレクター	研究プログラム	担当ディレクター
貿易投資	若杉 隆平 (京都大学)	国際マクロ	伊藤 隆敏 (東京大学)
地域経済	浜口 伸明 (神戸大学)	技術とイノベーション	長岡 貞男 (一橋大学)
産業・企業生産性向上	深尾 京司 (一橋大学)	新しい産業政策	大橋 弘 (東京大学)
人的資本	鶴 光太郎 (RIETI)	社会保障・税財政	深尾 光洋 (慶應義塾大学)
政策史・政策評価	武田 晴人 (東京大学)		



# 独立行政法人 経済産業研究所

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号  
 経済産業省別館 11階  
 Tel: 03-3501-1363 (代表) Fax: 03-3501-8577 (代表)  
 ホームページ <http://www.rieti.go.jp/>  
 Eメール: [info@rieti.go.jp](mailto:info@rieti.go.jp)



2011年7月作成



## 独立行政法人 経済産業研究所

### 独立行政法人 経済産業研究所 (RIETI) の目的

独立行政法人経済産業研究所 (Research Institute of Economy, Trade and Industry/RIETI) は、霞ヶ関という立地条件を生かし、政策担当者・研究者・産業界等の連携によるシナジー効果を最大限に発揮しながら政策研究・提言を行う本格的な政策研究機関として2001年4月に設立されました。

成熟した活力ある日本社会の構築を目指し、従来の枠組みに囚われないグローバルな視点からの理論的・分析的な研究に裏打ちされた政策展開を実現していくために、RIETIでは我が国における経済産業政策のあり方についてニーズに見合った研究領域を設け、その領域の下で個別の研究が有機的に関わり合うよう工夫しています。また、効果的・効率的な研究成果の普及・政策提言のために、ウェブサイトや刊行物などの多様なツールを積極的に活用しています。RIETIは今後も活発な政策提言を通じ、政策論争及び政策形成に貢献していきます。

RIETIは、公共政策に関する研究を効果的かつ効率的に実施することを目的として、2001年に設立された日本初の独立行政法人化した政策シンクタンクです。理論的・実証的な研究とともに政策当局とのシナジー効果を発揮し、エビデンスに基づく政策提言を行うなど内外から高い評価を得てまいりました。

少子高齢化の進展、経済グローバル化の下での企業の国際競争激化や高成長するアジア経済の取り込みなど、日本経済には課題が山積しております。このような環境において、経済活力の回復と持続的な安定成長を図り、一層豊かな国民生活を実現するためには、引き続き日本経済の構造改革が欠かせません。

RIETIはこうした課題に対し、蓄積された能力を最大限発揮して、経済産業政策の形成に資する高度な研究を今後とも遂行する所存です。昨年度で5年間にわたる第二期中期計画(2006年度～2010年度)を終了し、本年度より世界経済の成長を取り込む視点、新たな成長分野を切り拓く視点、および、持続的成長を支える経済社会制度を創る視点から、新たな中期計画の立案遂行を図っているところです。METIをはじめ関係政府機関との連携はもとより、産業界、学界とのさらなる緊密な協力の下で研究を深め、その成果が国家、国民のために十分活用されるよう全力を傾注してまいります。

RIETIに対してこれまで賜りましたご支援、ご鞭撻を引き続きよろしく願いいたします。  
 理事長 中島 厚志

RIETIは、この4月から始まった第三期中期計画において、日本経済を成長軌道に乗せ、その成長を確固たるものにしていくためのグランドデザインを理論的・実証的に研究することを使命としています。そのために、1) 世界の成長を取り込む視点、2) 新たな成長分野を切り開く視点、3) 社会の変化に対応し、持続的成長を支える経済社会制度を創る視点、の3つの重点的な視点を常に踏まえて研究を行っています。

1) の視点は、近年、急速な成長を遂げてきたアジアの新興国をはじめとする世界の成長を日本の成長に取り込み、日本の科学的技術力を活かした貿易・投資とビジネス展開を促進することの重要性を表しています。2) の視点は、我が国の強みと社会状況を生かして、グリーン・イノベーションやライフ・イノベーションに代表されるような新たな成長産業を生み出すため、R&D政策の在り方や生産性向上の理論・実証分析の重要性を表しています。3) の視点は、我が国の持続的な成長を支えるためには、経済的・社会的インフラについて、高齢化、環境、財政などの制約を乗り越え、社会の変化に対応した安定的な制度を構築することの重要性を表しています。RIETIは、これら3つの視点を念頭に置きながら、我が国の今世紀における持続的な発展に向けての研究を、日本の研究者と政策立案者、さらにはアジアや欧米をはじめとする海外の研究者との緊密な連携のもとに総合的に遂行していきます。

奇しくも、第三期を目の前にして、我が国にとって未曾有の「東日本大震災」が発生しました。我が国が、この戦後最大ともいえる危機を乗り越えて新しい日本を創っていくためにも、RIETIは、緊急対応のみならず中長期的な視点から、全力を挙げて研究を進めていく所存です。

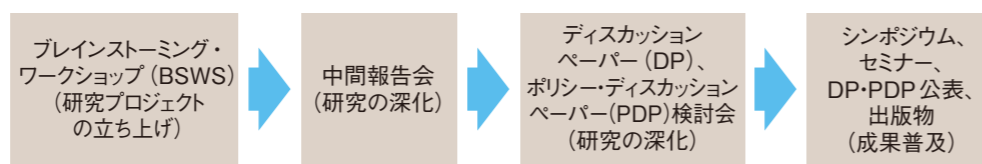
所長 藤田 昌久

## 研究内容



## 研究プロセス

研究の質を高める目的で、国内外の専門家や政策当局者を交えて議論を深め、全ての研究について少なくとも3回はワークショップやシンポジウムなどの「議論の場」を設けています。



## 研究員の分類



## シンポジウム・セミナーの実施

研究成果の普及のために、シンポジウムやセミナーを開催しています。さらに、画像音声の同時配信・オンデマンド配信、議事録や配布資料のウェブ掲載などを通じた即時公開にも努めています。

### ■ 政策シンポジウム

RIETIにおける研究成果の発表とともに、関連する内外の政策実務者、研究者、民間有識者、ジャーナリストを広く招聘してディスカッションを行い、研究成果のさらなる深化を図っています。シンポジウムでの議論はサマリーの形でまとめられ、プレスリリースやRIETIのウェブサイト等を通じて配信されます。

### ■ BBLセミナー

米国の大学や研究機関では、研究者や教授、学生たちの間でBrown Bag Lunch (BBL) Meetingというものがあるのが頻繁に行われています。自分の昼食を茶色の紙袋に入れて集まる事が名前の由来です。RIETI BBLシリーズも昼休みを利用し、国内外の有識者を講師として招き、様々な政策について産官学の垣根を超えてフランクな議論を行う機会を提供しています。

## ウェブサイト <http://www.rieti.go.jp/>

ウェブサイトは日本語、英語、中国語で構成され、RIETIや研究員の活動を幅広く紹介しています。研究成果であるディスカッションペーパーや研究員による政策提言的なコラムの掲載、また、各研究会独自のコンテンツにも力を入れ、個別の政策 이슈を深く掘り下げて発信しています。日本の経済成長と産業構造変化を分析するための基礎資料である「日本産業生産性データベース (Japan Industrial Productivity Database: JIP)」や、東アジアにおける為替相場政策協調と金融当局のサーベイランス機能の向上にも貢献すると期待される「アジア通貨単位 (AMU) と東アジア通貨のAMU乖離指標」の測定結果を公開するなど、他では入手できない貴重なコンテンツを取りそろえています。

## ディスカッションペーパー・ポリシーディスカッションペーパー

ディスカッションペーパー (DP) は、内部のレビュー・プロセスを経て、論文形式でまとめられた研究成果です。高い学術的水準を確保しつつ、政策形成に貢献することを目的としています。

ポリシーディスカッションペーパー (PDP) は、RIETIの研究に関連して作成された論文で、政策を巡る議論にタイムリーに貢献することを目的とした研究成果です。

これらは、ウェブサイトからダウンロードが可能です。



## 出版物

専門分野毎のレフェリー審査をクリアする学問的水準の高い研究成果や、より広い読者層を対象としたタイムリーな政策研究トピックなど、RIETIの出版物のテーマは多岐にわたり、様々な出版社から刊行されています。



## 広報誌 RIETI Highlight

シンポジウム、セミナーの開催報告、新刊本の書評、フェローによるコラムなど、四半期ごとにRIETIの最新活動状況を紹介する広報誌です。フェローの研究成果である「ディスカッションペーパー」について、主要なポイントや研究の問題意識などを著者インタビューを通じて分かりやすく紹介する「Research Digest」のコーナーも掲載しています。また、毎号、研究成果の中から時宜を得たテーマを取り上げ「特集」としてご紹介しています。

